

2017年度科学研究費によるシンポジウム案内

科学研究費補助金 基盤研究 (A) 15H01678

「大規模複雑データの理論と方法論の総合的研究」

研究代表者：青嶋 誠（筑波大学）

(I) 統計学, 機械学習の数理とその応用

開催責任者：竹之内高志（公立はこだて未来大学）

日時：2017年9月21日(木)～9月22日(金)

場所：公立はこだて未来大学

内容・目的：近年、人工知能/ビッグデータに関連するトピックが大きな注目を集め、様々な応用が生まれつつあります。今後大きく発展していくであろうこれらのトピックにおいて、統計学/機械学習/情報理論の基礎理論は必要不可欠な基盤であり、その重要性はますます高まっていくと予想されます。本シンポジウムではこのような背景をふまえ、機械学習/統計学/情報理論/自然言語処理/データマイニング/バイオインフォマティクスなどの関連諸分野における基礎理論、アルゴリズム、応用に関する研究発表を広く募集します。

旅費の配分：講演者を中心に配分します。旅費希望の方は講演申込の際にお伝え下さい。

宿舎の斡旋：斡旋しません。

講演申込期限：2017年7月28日(金)

氏名・所属・講演題目を電子メールでお知らせ下さい。

予稿期限：2017年8月18日(金)

A4サイズ10頁以内で作成し、PDFファイルを送信して下さい。

報告書原稿：

報告書を作成しますので、予稿とは別に報告書原稿（A4サイズ2枚）もPDFファイルで送信して下さい。

問い合わせ先・講演申込先・予稿送付先・報告書原稿送付先：

竹之内高志

はこだて未来大学 複雑系知能学科

E-mail: ttakashi [at] fun. ac. jp

(II) 多様な分野における統計科学の総合的研究

開催責任者：蛭川潤一（新潟大学）

日時：2017年11月17日（金）～11月19日（日）

場所：コープシティ花園 4F ガレソホール a

（TEL: 025-248-7511）

<http://garesso.jp/index.php>

内容・目的：多様な分野における統計科学の新しい理論や応用，教育の総合的研究について，講演を広く募集します。統計科学の諸分野間でのアイデアの交流を目的とします。新たな統計教育の方法や実践，他分野においても有用と思われる，最新の知見や埋もれている結果についての汎用的な統計方法の解説，問題提起，応用事例紹介等を歓迎します。このシンポジウムをとおして，若手の研究者の育成を視野にいれ，分野を超えた統計家のネットワークを発展させます。

旅費の配分：講演者を中心に配分します。旅費希望の方は講演申込の際にお伝え下さい。

宿舎の斡旋：斡旋しません。

講演申込期限：2017年10月6日（金）

氏名・所属・講演題目を電子メールでお知らせ下さい。

予稿期限：2017年10月27日（金）

A4 サイズ 10 頁以内で作成し，PDF ファイルを送信して下さい。

報告書原稿：

報告書を作成しますので，予稿とは別に報告書原稿（A4 サイズ 2 枚）も PDF ファイルで送信して下さい。

問い合わせ先・予稿送付先・報告書原稿送付先：

〒950-2181

新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050

新潟大学理学部数学教室 蛭川潤一

E-mail: hirukawa [at] math.sc.niigata-u.ac.jp

(III) 大規模複雑データの理論と方法論, 及び, 関連分野への応用

<http://www.math.tsukuba.ac.jp/~aoshima-lab/jp/symposium.html>

開催責任者：青嶋 誠 (筑波大学)、矢田和善 (筑波大学)、日野英逸 (筑波大学)

日時：2017年12月1日(金)～12月3日(日)

場所：筑波大学自然系学系D棟509(筑波キャンパス内)

内容・目的：高次元データやビッグデータに代表される複雑かつ大規模なデータの最近の話題に関する研究発表を、理論研究から応用研究まで広く募集します。具体的には、高次元データ解析の理論と方法論、ビッグデータ解析、機械学習、AI、計算統計、生物統計、データマイニング、ファイナンスなどがキーワードになります。また、研究成果の発表だけでなく、興味ある話題や手法の解説、新たな問題の提起、萌芽的なアイデアの紹介なども歓迎します。本シンポジウムは、各方面で得られた研究成果や知見を持ち寄り、幅広い視点から討議を重ねる形の研究集会にできればと思っております。

旅費の配分：講演者を中心に配分します。旅費希望の方は講演申込の際にお伝え下さい。

宿舎の斡旋：斡旋しません。

講演申込期限：2017年10月20日(金)

氏名・所属・講演題目を電子メールでお知らせ下さい。

予稿期限：2017年11月10日(金)

A4サイズ10頁以内で作成し、PDFファイルを送信して下さい。

報告書原稿：

報告書を作成しますので、予稿とは別に報告書原稿(A4サイズ2枚)もPDFファイルで送信して下さい。

問い合わせ先・予稿送付先・報告書原稿送付先：

〒305-8571 茨城県つくば市天王台 1-1-1

筑波大学 数理物質系 数学域 矢田和善

Email: yata [at] math.tsukuba.ac.jp TEL: 029-853-4291

(IV) 生命・自然科学における複雑現象解明のための統計的アプローチ

開催責任者：松井秀俊（滋賀大学）

日時：2018年2月16日（金）～2月17日（土）

場所：滋賀大学彦根キャンパス 総合研究棟（士魂商才館）3階

内容・目的：

近年の情報通信機器の発達に伴い、大量かつ複雑な形式を持つデータが多く取得されるようになってきました。これに伴い、様々な分野で、取得されたデータを分析するための高度な方法論に対する需要が高まっています。本シンポジウムでは、統計学、機械学習、バイオインフォマティクスなどに基づく手法による、生命科学をはじめとした多様な分野におけるデータ分析の応用事例に関する講演を広く募集します。講演内容としては、新たな分析手法の提案のみならず、応用分野の側面から見た分析上の問題提起なども歓迎します。参加者の交流を通じて、知識の共有だけでなく、新たな研究の発展や問題解決に繋げる場にするを目的としています。

旅費の配分：講演者を中心に配分します。旅費希望の方は講演申込の際にお伝え下さい。

宿舎の斡旋：斡旋しません。

講演申込期限：2018年1月12日（金）

氏名・所属・講演題目を電子メールでお知らせ下さい。

予稿期限：2018年2月2日（金）

A4サイズ10頁以内で作成し、PDFファイルを送信して下さい。

報告書原稿：

報告書を作成しますので、予稿とは別に報告書原稿（A4サイズ2枚）もPDFファイルで送信して下さい。

問い合わせ先・講演申込先・予稿送付先・報告書原稿送付先：

松井秀俊

〒522-8522 滋賀県彦根市馬場1丁目1-1

滋賀大学データサイエンス学部

E-mail: hmatsui [at] biwako.shiga-u.ac.jp